

1 背景・課題

**都立の高等教育機関としての存在意義の明確化と  
社会（都民・企業等）への浸透が重要**

- ・ 都立の高等教育機関であることの分かりやすい発信
- ・ 都政・都民等への教育研究成果の一層の還元

**少子高齢化の進展、高等教育の無償化等**

- 大学の強みの明確化、他大学との差別化
- 多様な学生(社会人、シニア)を受け入れる教育体制

2 第三期中期目標の変更(強化)点

「○」は 取組の方向性

**(1) 東京都や区市町村との連携事業の拡充**

- コーディネート機能(研究シーズと行政課題のマッチング)の強化
  - 拡充 外部研修等による専門人材のスキル向上
  - 新規 各局ごとの行政課題の把握・分析と研究シーズの提案
- 連携事業に対するインセンティブの付与
  - 新規 受託先からの受入資金に加え、重点的に学内研究費を配分することで、より充実した施策提案につなげる
- 連携事業に特化した広報の展開
  - 拡充 連携の成果等を掲載した研究広報誌を関係機関へ定期的を送付
  - 拡充 都の政策分野ごとに研究シーズをデータベース化

**「子供の貧困に関する調査研究」(福祉保健局)**  
 ・子供の生活実態調査を実施(平成28～29年度)  
 ・「子育てサポート情報普及推進事業」等が開始  
 ⇒新たな施策立案に結実

**(2) 工学分野の教育研究拠点の強化等による産学公連携の推進**

- 日野キャンパスを産学公協働インキュベーションセンターとし、多摩地域の企業等との連携を強化
  - 拡充 地元企業や産業技術研究センターなど研究機関等との共同研究の推進
  - 新規 日野キャンパスへの産学公連携の専用窓口の設置
- 中小企業等に対する支援の強化
  - 新規 共同研究で発生した知的財産の活用等の相談対応
  - 新規 研究機器の企業への貸出を含む共用化の検討
- 総合大学の強みを活かした分野横断の連携
  - 拡充 福祉・介護用ロボット等社会ニーズを捉えた製品開発に向けた研究シーズの提案

**《首都大日野キャンパスの特色》**  
 ・工学分野における、基礎から応用・総合まで一貫した教育研究体制(平成30年度学部再編)  
 ・医療機器や電子・ロボットなど精密機械の研究開発型企業が近隣に集積

**(3) 人生100年時代を見据えた新たな学びの場の提供**

- TMUプレミアム・カレッジの開講
- AITシニアスタートアッププログラムの開講



**(4) 国内外に向けての戦略的な情報発信及び効果検証**

- マーケティングや広報の専門家など外部人材の活用等による2大学1高専の魅力の発信

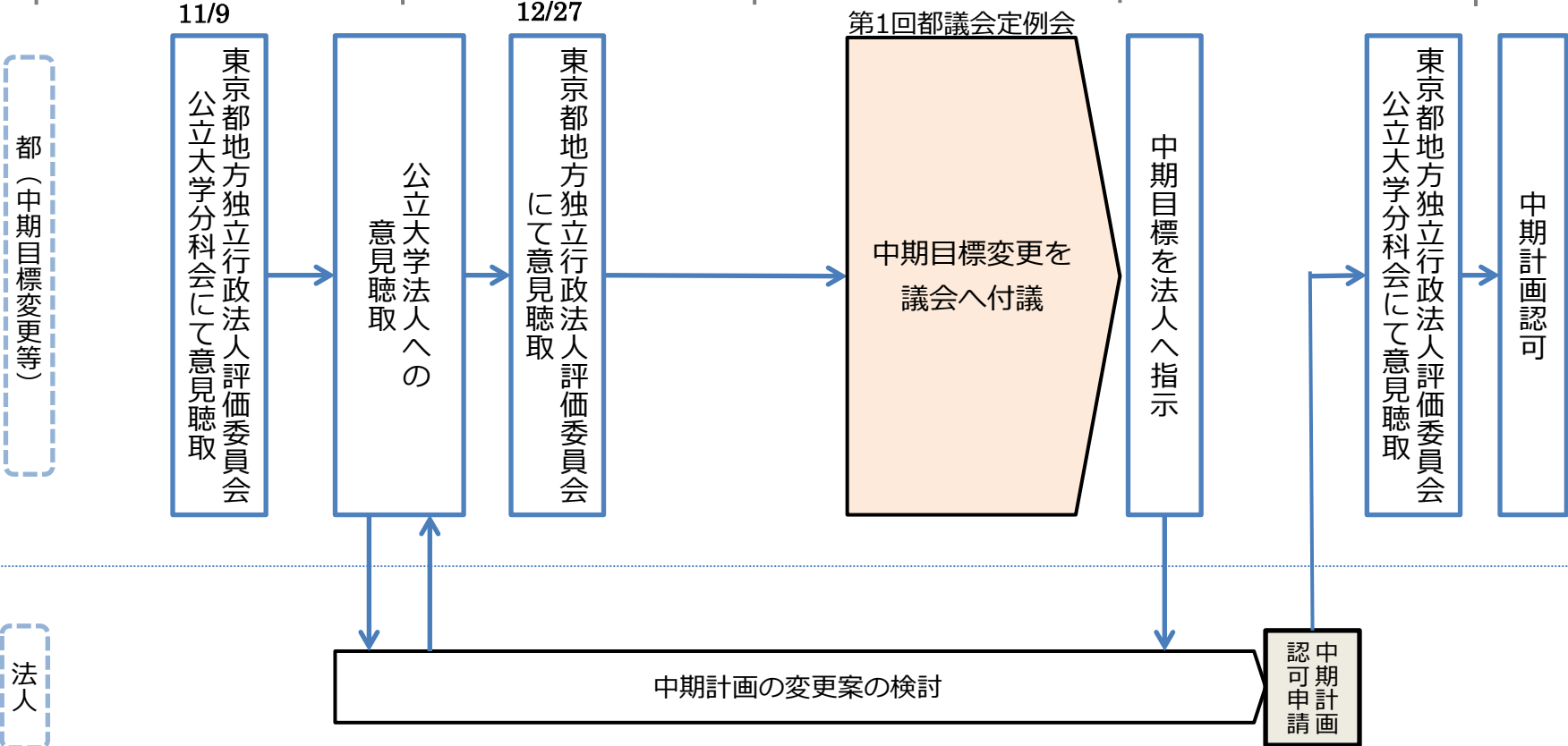
(参考)大学・法人名称変更に伴う文言修正 ※名称変更は平成32(2020)年4月からの予定  
 ○「首都大学東京」⇒「**東京都立大学**」 ○「産業技術大学院大学」⇒「**東京都立産業技術大学院大学**」 ○「公立大学法人首都大学東京」⇒「**東京都公立大学法人**」

# 今後のスケジュール

平成30年度

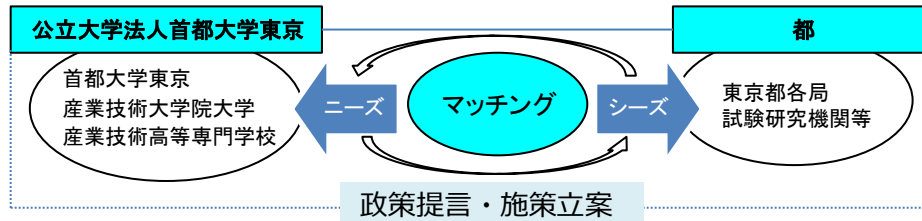
平成31年度

10月                              12月                              2月                              4月                              6月

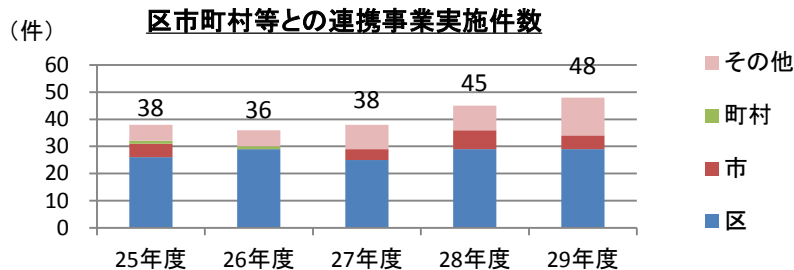
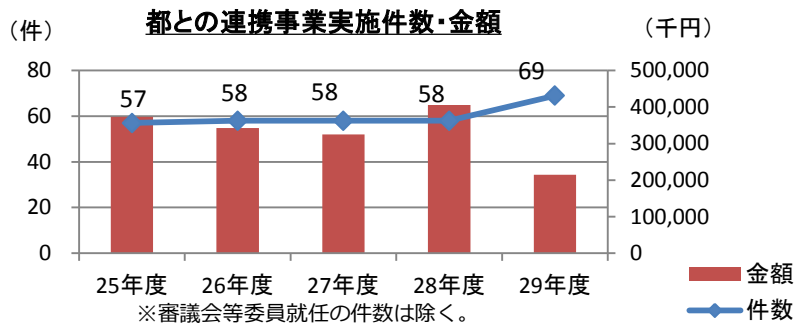


## 東京都との連携事業

- 大学に集積された専門的知見など(シーズ)を活用し、多様化する都政のための施策を提案

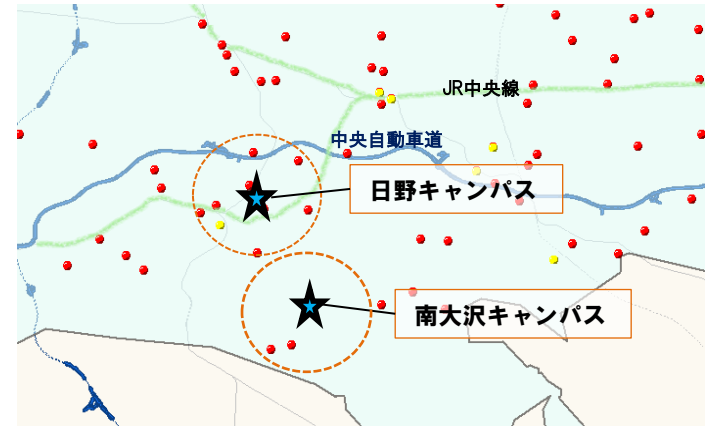


### <平成29年度までの実績>

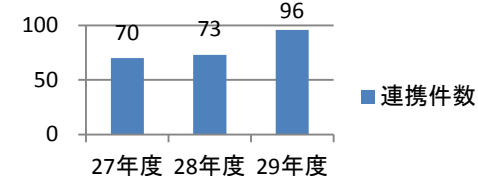


## 産学公連携

- 研究開発型企业との位置関係



### <日野キャンパスにおける企業との連携状況>



### <首都大発ベンチャー設置数>

※平成29年度末時点・・・10社  
(そのうち5社が日野キャンパス発)

(例)Vital Lab株式会社  
⇒体温・心拍数等のデータから  
解析・判別し、「高齢者の見守り」等の課題解決を行う

## 首都大学東京の大学認知度等

- 首都大学東京の高い教育研究水準に対して、一般都民等の大学認知度やブランド力が十分とは言えない

- ・ Times Higher Education 「世界大学ランキング2018」 国内 11位
- ・ 日経BPコンサルティング「大学ブランド・イメージ調査」(2017)  
(ブランド偏差値順位) 首都圏 42位  
(大学認知率順位) 首都圏 57位

- ・ 首都大学東京の学生を対象とする調査において、半数近くの学生が「改善してほしい点」に「大学名・知名度」を挙げている。

人生100年時代を見据えた新たな学びの場の提供

TMUプレミアム・カレッジ

- 首都大学東京に、体系的な学びと交流の場を通じて新たな知識・仲間を得ることのできる「TMUプレミアム・カレッジ」を新たに開講。

＜概要＞ ※2019年4月開講

学生（対象・入学選考等）

項目	内容
対象	50歳以上 知的好奇心に富み、学びの意欲にあふれ、学生とともにキャンパスライフを楽しもうとするシニア
募集人員	50名程度
入学考査	小論文+面接を実施し、入学者を選抜
授業料等	授業料：20万円（年額） 選考手数料：1万円

学生生活

- ✓ 1年間在学(週3～4日程度の通学をイメージ)
- ✓ 学校教育法に基づく履修証明プログラムとし、修了要件を満たした場合、履修証明(certificate)授与
- ✓ カリキュラムは、必修科目・選択科目・アディショナル科目で構成
- ✓ 現役学生と同じ授業を受けられる機会も提供

カリキュラム（イメージ）

- ✓ 総合大学である首都大学東京が有する、幅広く多様な教育、研究資源を、研究資源を生かした講義
- ✓ 講義と組み合わせ、ゼミナールや東京都の持つ資源を活用したフィールドワーク（施設の見学等）

AIITシニアスタートアッププログラム

- 産業技術大学院大学に、起業等を考えるシニアに向けた「AIITシニアスタートアッププログラム」を新たに開講。

＜概要＞ ※2018年8月開講

学生（対象・入学選考等）

項目	内容
対象	概ね50歳以上
募集人員	各科目20名
入学考査	論文試験
授業料等	選考手数料：1万円 受講料：2万円/科目

学生生活

- ✓ 8ヶ月間在学（事例研究型科目、PBL型科目受講時に選考あり）
- ✓ 平日夜間、土日に開講

開講科目

- ◆基礎科目（講義・演習型科目）
  - ・東京経済事情【必修】
  - ・経営戦略要論【選択】
  - ・ファイナンス要論【選択】
  - ・マーケティング要論【選択】
  - ・ITイノベーション要論【選択】
- ◆事例研究型科目：基礎科目受講者から選考
- ◆PBL型科目：事例研究型科目受講者から選考